

## 令和 5 年 第 2 回定例会一般質問（発言順）

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	赤 井 睦 美	1. 外国語表記の推進を！	<p>2019年9月定例会の一般質問で、来町される外国人のための外国語表記案内についてお伺いしました。当時は「外国人旅行者は1%と少ないため考えていない」としながらも、町長はQRコードを活用し、案内等の多言語化を考えたいと答弁されました。最近、木彫り熊の人気が高まり、100周年記念の準備も進められているようですが、そうしたパンフレットや町内の各種案内、PR等の多言語化、最低でも英語表記の物も準備すべきと思いますが、町長のお考えをお伺いします。</p>	町 長
		2. 産業支援の強化を！	<p>町内の小売業やサービス業においては、コロナの影響はもちろん、少子化や人口減少による購買力の低下、電気代等の値上げによるコストの増大、ネット販売の影響等々、個人では解決できない大きな課題が積み重なっている状況です。</p> <p>コロナ禍には対策関連の支援として、各種応援金や商品券の発行、利子等の補給も行っていましたが、今後、廃業という残念な結果にならないように、商工会としっかりタッグを組んで、新産業と同じくらいの情熱と意欲で、様々な情報提供や情報共有等の支援が必要だと思いますが、町長のお考えをお伺いします。</p>	町 長
		3. 町が取り組むべき事業とは？	<p>町長は、持続可能なまちづくりを目指し、将来の財政不安を少しでも減らすため、青年舎、木蓮、サーモン養殖を始め、ワイナリー、ウイスキー、きくらげの生産など次々と新しい産業の創出、拡大に向け取り組んでいます。1次産業が活性化しなければ、八雲町は立ち行かなくなるという考えには私も賛同します。</p> <p>しかし、今までの取り組みが、生産者からの強い要望によって始まったのではなく、町からの呼びかけで始まっていることに、私は不安を感じています。</p> <p>町の出資により、青年舎や木蓮、サーモン養殖がスタートして間もないですが、今のところ、設立当初の目的や計画にそって順調の進んでいるのでしょうか。</p> <p>また、原状の課題とそれらの対策は、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>さらに、今後予定されているきくらげの栽培やワイナリー、ウイスキーは、今までと同じように、八雲町が出資をして進めていくのか、だれがどのような形で進めるのか、どのような形で進めていくのでしょうか。</p> <p>そして、それは持続可能な産業として根付いていく見通しはあるのでしょうか？</p> <p>万が一、思うように進まなかった場合は、どのような対応をお考えでしょうか？</p> <p>最後に、このような方法で、今後も進めていくのでしょうか。</p>	町 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	横 田 喜 世 志	1. 電気料金の値上げにどう対策するか	<p>北海道電力は平均 23.2%値上げになり、さらに上がる様相があります。熊石平田内川で水力発電を建設していますが、その質疑の時に「地域発電を」と問いましたが、「条件が整えば」というような答弁でした。買う電気と作る電気の差が縮まっている今が考えどきではないかと思います。</p> <p>国の再生可能エネルギー事業支援施策の補助金を活用した「マイクログリッド」と言われる取組が各地で行われている。</p> <p>小規模電力網を構築して、エネルギーの地産地消を八雲町で取り組むべきではないか、伺います。</p> <p>また、当町は新庁舎の計画があり、災害拠点でもあり、新庁舎計画にも小規模電力網を取り入れる必要があると思うが、いかがか。</p>	町 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	三 澤 公 雄	<p>1. 女性の活躍する場面を増やそう</p> <p>2. 現場を孤立させないために</p>	<p>女性活躍推進法の改正に伴い、2022年4月から従業員101人以上の中小企業でも“女性活躍推進”に向けた行動計画等の策定が義務づけられました。いまや女性を登用し、活躍できる環境をつくることは、大企業のみならず、中小企業にとっても必須の経営戦略です。</p> <p>では、八雲町では、どのような取り組みが成されていますか。採用難が続く昨今です。女性活躍の推進!!に“いちるの光明”を感じるのですが、町長の見解を伺いたい。</p> <p>学校では十二分にLGBTQIA+に対しての配慮する用意も、児童・生徒さん達への教育も、児童・生徒さん達の認識も、“国会”をはるかに超えています。喜ばしいことですが、翻って“八雲町の社会”ではどうでしょうか。</p> <p>教育現場や児童・生徒さん達を孤立させないためにも、社会の認識が追いつくためにも、広い意味での差別を無くす、差別を許さない宣言をすべきではないでしょうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教 育 長</p>

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	倉 地 清 子	1. 少子化対策について	<p>政府はこれまで様々な取り組みを計画し、2005年度からは「少子化社会対策大綱」とその具体的な実施計画である「子ども・子育て応援プラン」に基づき、少子化対策が推進されてきた。しかしながら、少子化・人口減少に歯止めがかからなかった。</p> <p>そこで政府が3月31日に発表した少子化対策の柱として「児童手当など経済的支援の強化」「保育サービスの充実」「働き方改革の推進」を挙げている。</p> <p>少子化の背景には、経済的な不安定さ、出会いの機会減少、仕事と子育ての両立の難しさ、家事・育児の負担が依然として女性に偏っている状況、子育ての孤立感、子育てにかかる費用負担など、個々人の結婚・妊娠・出産・子育ての実現を阻む様々な要因が絡み合っている。</p> <p>少子化対策は経済的、社会的に深刻な影響が予測され、地域によっては更に進行し、現在の住民に対する基礎的なサービスの提供が困難になると懸念されている中、以下のことを伺います。</p> <p>(1) 現在、八雲町では子育てにかかる費用負担の軽減を図るため、給食費無料・保育費無料・医療費無料など、すでに先進的な取組を実施しているところである。しかしながら、少子化に歯止めがかからず、20年度以降、年間の出生数は100人を割っており、22年度は83人とどまった。子どもが生まれてからの支援の他に、少子化対策の一つとして、妊娠、出産を望んでいる方への不妊治療の助成ができないか伺います。</p> <p>(2) 国は少子化対策の柱として3つ掲げているその3つ目に「働き方改革の推進」を挙げている。男性職員育児休業取得率の政府目標を30%から50%に大幅に引き上げ、道も男性職員の育休促進目標を30%に引き上げるなど、育休推進に力を入れている。</p> <p>八雲町では、男性職員の育児休業取得促進については、どのような取り組みをされているか伺います。</p>	町 長

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	佐 藤 智 子	<p>1. マイナンバーカードの問題</p> <p>2. 地域猫活動</p>	<p>マイナンバーカードの誤登録が大問題になっている。八雲でもマイナポイントのミスが発生した。マイナ保険証においては、命に関わる事例も発生しかねない。これらは人偽的ミスを超えたシステム上の問題と言わざるをえない。</p> <p>被害にあった方に対し、自治体だけが責任を負うのか。</p> <p>また、紙の保険証を廃止し、拙速にマイナ保険証に一本化すると無保険状態の方が続出したり、介護施設が対応できなくなる恐れがある。</p> <p>個人情報の保護も含めて、どう住民を守っていくのか。</p> <p>函館をはじめ、近隣町でも地域で飼い主のいない猫を保護し、譲渡に結びつける活動が進んでいる。</p> <p>国も2019年6月に動物愛護法を改正し、殺処分ゼロをめざす方向である。東京都練馬区や川崎市など先進的な自治体もある。</p> <p>当町でも、野良猫が増えないように避妊手術に補助を設定してはどうか。そこまで出来なくても、譲渡会を開きたい人の相談を受けるなど、地域猫活動の啓発に努めてはどうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>